

“リーダーの大変さ…”

今日から体育祭練習が始まりました。スタートに3年生の実行委員の生徒たち、応援団長が中心となり結団式が行われました。3年生のリーダーたちは本当によく頑張っています。さすがです。

ただ、本当のリーダーとしての役割、大変さはここからです。練習が続くと、疲れもできます。種目の練習を行っていると上手くいかないこともあり、隣のクラスに負けてしまうこともあります。これは当たり前ですが、必ずやってきます。その時、リーダー（実行委員、応援団長、応援団、ムカデの先頭の人、大縄の綱を回す人など・・・）がどう動くかが大切なポイントになります。上手くいかない＝おもしろくない→不機嫌になる→誰か（人）の責任にする。この負サイクルを皆さんはどう思いますか。これでは雰囲気が悪くなり、仲間が委縮し、今までより良くない結果になることは安易に予想されますね。

自分の色、クラス、チームが上手くいかなかったとき、モチベーションが下がってきたとき、雰囲気が悪くなってきたとき、この時こそがリーダーとしての力を発揮するときです。リーダーとしての大変さはここです。さあリーダーのみなさん、このときどうしますか？“自分の表情は？”、“声のトーンは？”、“どんな声掛け、話をしますか”、“落ち込んでいる人にどう関わりますか？”

リーダーは大変なことが多いと思います。でも、やりがいがあります。やり切ったときの達成感もとても大きいです。来週の体育祭、自分の色（個性）を出しながら、是非仲間を、集団を良い方向に引っ張って行ってほしいと思います。良い体育祭を期待しています。そして、リーダーの皆さんのさらなる成長を楽しみにしています。

『上手くいかないのは誰のせい？』

がんばっても上手くいかないとき、やろうと思ってやれないとき、そんなことはありませんか？大人の自分でもそういうことはあります。そんな時、気を付けているのは『人のせいにしないこと』です。生前のプロ野球の野村監督が「勝ちに不思議はあるけど、負けに不思議はない」と言っていました。理由がなく勝つときがあっても負けるときには必ず理由（原因）がある。という意味です。まさにその通りだと思います。だから自分は上手行かなかったときは、自分の何が足りなかったのか、どこがダメだったのかを振り返るように心がけています。しかし、これは結構大変です。人の責任にした方がはるかに楽です。でも、人の責任にしてしまうと自分の成長（学び）は終わってしまうし、人のつながりもなくなってしまいます。何よりもそんな自分自身とは一生付き合っていくのは嫌です。だから、自分は人のせいにする人にならないようにしたいと思っています。